



阿宮地区の人口 ※上出西1を含む

	R6.2月末 (前月末比)	R5 2月末
世帯数	143戸(±0)	144戸
人口	391人(-2)	394人
男性	173人(-1)	174人
女性	218人(-1)	220人

4月のクラブ活動

- ・ 暁俳句会 4月 6日(土)
- ・ グラウンド・ゴルフ 毎週水・土曜日
- ・ 習字クラブ 4月 5日(金) 19日(金)
- ・ フォークダンス 4月 1日(月)
- ・ 阿宮川柳会 4月17日(水)
- ・ ビーズの会 月1回
- ・ カローリング 月2回程度
- ・ 阿宮神能会 月2回程度
- ・ あぐ花の会 4月28日(日)

4月のおもな行事

- ・ 4月 8日(月) 青パト出発式
- ・ 4月10日(水) ふれあいサロン
- ・ 4月21日(日) 阿宮地区自治協会総会



もえないゴミの日 ★水曜日です★

- 4/3 埋立ごみ 飲料用空き缶
- 4/10 ペットボトル
- 4/17 破碎ごみ
- 4/24 空きびん

天寺平廃寺講演会

保科 ひろみ(下1)

3月2日(土)出雲弥生の森博物館の花谷浩館長より「古代仏教と天寺平廃寺」と題して講演を聞きました。

天寺平廃寺の標高は207メートル、斐伊川からの比高は約180メートルと誰も行かない山中だった為、荒らされずに残っていたとのこと。軒平瓦の文様をみると七世紀後半ごろの建造物ではないか、天寺平廃寺は四天王像を祀るためのお堂だったのではないかとまだわかっていないことも多いようです。

遙か昔、かなり立派な寺院がつけられたこと、なぜこの阿宮だったのか、これから色々研究が進み新しいことも分かってくるのでしょうか。私たちの住むこの阿宮に、このように歴史のある遺跡があることをたくさんの人に知ってもらい大切に保存して行きたいと思います。



阿宮の宝保存事業

NOSAI島根 斐川地域事業推進協議会様

パイプテント一式を寄贈

地域活動や災害時において避難所や応急医療拠点として、地域の安全・安心を確保するうえで有益であることからコミセンに寄贈いただきました。



コミセン災害対策備品 (一部です)

非常食	500食	ヘルメット	22個
飲料水	48L	発電機	2台
毛布	10枚	延長コード(ドラム)	4台
簡易トイレ	20個	レインコート	17着
段ボールベット	1台	ハロゲンライト	1台
エアクッション	20個	梯子	2本
間仕切りテント	4張	カセットコンロ	1台
間仕切りシート	1枚	携帯浄水器	1個
簡易テント	2張	ポリタンク	4個
トイレトーパー	24個	ランタン	2個
大人用紙オムツ	60枚	拡声器	1台
ティッシュペーパー	10箱	ろうそく(8時間)	20本
		乾電池	104個
		安定ヨウ素剤	2000丸
		安定ヨウ素剤ゼリー	100包

「阿宮の宝保存事業」天寺平廃寺整備を振り返って

(事業の目的と概要) この事業は、出雲市の令和4年度及び5年度における、出雲市の「元気！やる気！地域応援補助金」を活用して、昭和61年(1986)阿宮コミセン上方で発見された天寺平廃寺について探究することで地域の古代にロマンを感じ、整備活動を通じ地区住民の「ふれあい」や歴史を学ぶことで若者の郷土愛や後世に引き継ぐことを目的とした。

(経過) 平成31年1月発行された「阿宮・上出西の寶」発行者である故 保科幸治氏と会員が踏査されているが、余りにも進入路や寺院跡の形状が不明確であった。令和4年4月荒神谷博物館の副館長内田律夫氏や宍道年弘企画監と現地を踏査され、貴重かつ整備をすることで風光明媚な視野が広がる助言をされた。

(進捗) 令和4年度は早速、地域応援補助金30万円が採択され、山林所有者の承諾、進入路など地元の方の理解、協力を得た。一方でプロジェクトの会員で伐採作業や進入路の整備をされ、立栗山からの斐伊川や上津地区が眺望できるようになった。また、看板の設置も施行された。

(講演会等) 令和4年度は宍道年弘企画監の講演、荒神谷博物館の「阿宮の古代寺院天寺平廃寺」スポット展の見学などを実施した。また、リーフレットを作成し各コミセンや地区内に配布した。

令和5年度は宍道年弘企画監による現地説明会、妻木晩田遺跡、上淀廃寺跡の見学や、「古代仏経と天寺平廃寺跡」と題し、出雲弥生の森博物館館長の花谷浩氏の講演会を開催された。

引続き伐採作業や看板の設置が施され、一層眺望が開け地区内外の方が訪れられることを期待します。

なお、令和5年度の補助金は、阿宮の宝保存事業として城平山事業にも充当された。

(今後) 標高は200メートルであるが、登山道が急こう配の場所もあり掴まる手すり等があると、より安全に登下山できる。定期的な管理をとまなう。瓦の文様から時代を想像したり、妖精“てんじびらビット”のロゴを広める活動を共有したい。

(結論) この2年間の事業は、阿宮地区は出雲市でも小さな地域で、少子高齢化が顕著であるが、地域の連携や繋がりでやれることが実行された証となった。 文責 運営委員会 会長 山田 勉

阿宮っ子



中学校卒業
筈谷葉月さん(上阿宮3)



小学校卒業
筈谷津久美さん(上阿宮3)

写真は保護者さんからの投稿です。

アルミ缶はリサイクルステーションへ!

2月分アルミ缶回収量

15kg(※先月30kg)

来月も引き続きご協力をお願いします
出雲市環境保全連合会阿宮支部



裏面にも記事
がありますので
ご覧ください。

発行日：令和6年(2024)3月21日
発行：阿宮コミュニティセンター 総務部
☎699-0611 出雲市斐川町阿宮2323-2
☎0853-72-9142/fax0853-72-9152
Mail: agu-cc@local.city.izumo.shimane.jp